

第8回ジュニアコンサート in IAIと 遺愛の教育

9月7日（土）遺愛学院講堂で「第8回ジュニコンサート in IAI」が開催されました。今年は10名の小学生が参加してくれました。

声楽が1名、バヤリ演奏が4名、ピアノ演奏が5名で、4年生が5名、5年生が3名、6年生が2名でした。ふだん一生懸命練習しているのだと思いますが、どの小学生も本当に上手でした。ぜひ、音楽への取り組みの中で、人生を支えてくれるような曲と出会ってほしいと願います。

遺愛は創立時から英語教育と音楽教育に力を入れており、毎朝の礼拝では讃美歌を歌い、全学年で行う合唱コンクールは、とてもハイレベルです。また、クリスマス礼拝での「ハレルヤ」は全員で歌い、とても感動的で、いつまでも思い出に残っているようです。

先日、市内の老人福祉施設に勤める遺愛の卒業生が教頭先生に「いいお話」を教えてくださいました。その施設には90歳過ぎの女性がいらして毎日お世話しているのですが、認知症が進んでいて、つい先ほど話したこともすぐに忘れてしまう状態です。その女性が自分と同じ遺愛出身だということがわかり、試しにハレルヤコーラスを歌ってみたそうです。すると、すぐに大きな声と一緒にイキイキと歌いだしたそうです。全部歌詞をおぼえているそうです。それからは毎日、2人で大きな声で「ハレルヤ」を歌っているとのこと。たまに、まわりからは「うるさいぞ！」と言われれることもあるそうですが、御愛嬌です。若き日に遺愛でおぼえた「ハレルヤ」が通奏低音として、卒業生の心の中で流れているのだと思います。

2019年9月12日（木）

